

よしあし

JAPAN OBOE CLUB

第2号 1986年6月15日発行

編集・発行 日本オーボエ・クラブ広報委員会
東京都豊島区西池袋 3-25-2 大晴ビル某西池店内
会報関係の連絡先 ☎ 03-806-7202 伊藤 博
☎ 045-391-4115 安原理喜
〒241 横浜市旭区木村町 17-1-612
郵便振替「日本オーボエ・クラブ」東京 9-89563

名フィルに山本直人氏

名古屋フィルでは去る3月末、後藤敏秀氏が岐阜市内の会社管理職として退団したのに伴い、オーボエのオーディションを4月23日に行った。応募14名中当日の二次審査に5名が残り、最終的に山本直人(なおと)氏が5月1日付で入団した。氏は島根県益田市出身で、12歳より須山勝(元群響)、吉成行蔵(武蔵野音大)、北島章(N響)の各氏に師事。山本談「自分では受かったと思っていませんでした。まだ若いですし、経験もないですけど、頑張るしかないです」。

キルマー氏を囲む懇親会



5月10日18時より東京・池袋の『某〜しおり』にてイーストマン音楽院(米)教授リチャード・キルマー氏を囲む懇親会が催されました。当日の出席は6名と少なかつたにも拘らず、音楽事務所ナリより通訳と担当者が派遣され、今回の来日の目的である「武満徹/アントゥル・タン」の曲の内容及び行きさつ、米国のオーボエ事情などを氏のインターナショナルな感覚で語り、なごやかな3時間を過ごしました。



関西で初集会

4月22日18時より大阪市北区のレストランで関西在住会員の集会在催されました。以下、橋本徹雄氏の報告です。出席/朝倉祥古[関西Phil]、小林正行[大Phil]、胸ヶ嶺重成[京響]、辻野宏一[大阪市音楽団]、中館徳美[大阪府音楽団]、中山和彦[宝塚]、橋本徹雄[大阪音大]、楨和美[京響]、米山龍介[和歌山大]、岡本真[free] 日本オーボエクラブが東京で1月に発足し、これを受けて関西でも胸ヶ嶺重成氏が中心となり関西在住の会員10名中9名が集まり、九州から岡本真氏も特別参加、九州での会合を参考とさせて頂きました。各会員の意識の高さとスケジュールの調整に対して敬意を表したいと思います。

さて、集会は自己紹介に始まって終始なごやかに進められました。関西方面での当クラブへの参加の意義、方法、全員の勧誘等について真剣な討議がなされ、話題はさらに専門的な分野にも及び、今後こういった会を年に数回は催すことを満場一致で確認して10時過ぎ解散しました。以下、討議された主な内容です。

①今まで関西でもこういった組織を作る動きはいくつかあったが、いずれも色々な事情でうまく行かなかった。

この機会を大切に、関西だけに拘らず、クラブの主旨に添い、発展、充実を願い、積極的な参加を目指す。

②関西での会員は現在10名であるが、各会員が主旨をよく説明し、呼びかけ、賛助会員を含めできるだけ多数に参加してもらおう。但し、あまり無理をせず、個人の自由意思を尊重する。

③関西方面での会員が増えた場合、支部を作る必要が考えられる。その場合は事務局ともよく連絡を取り、主旨に反しないよう今後も検討してゆく。

④更に会員が増えた場合、当然、中心になり世話をする者が必要との認識から、役員とせず、関西方面の世話役として胸ヶ嶺重成氏と橋本徹雄氏の2名がこれに当たる。

⑤事務局への希望事項として、会員数や役員の関係上、会の運営は東京が中心になることはある程度止むを得ないが、運営や会費の用途等に関して関西は元より、地方にも充分に還元される様をお願いしたい。

⑥今回の集りは大変意義があったので、次の会合を研究会と併せて夏までに開催する。「チューブの理論と楽器に合った実際のチューブ作り」を楨和美氏が研究発表する。(報告/橋本徹雄)

九州=名古屋=東京=マルチ座談会



日本オーボエ・クラブも全国的な盛り上がりを見せて参りましたが、去る4月14日、福岡市内の『はかた家族』にて6名の会員が集り、その一部を誌上録音致しました。(文責・安原理喜)

安原理喜(フリー) — 今晚は、久々に私が九響にお邪魔したという事で皆さんに集まって頂きましたが、名古屋の方も1名加わって総勢6名となりました。まず自己紹介とコメントをお願い致します。

大倉 — 九州交響楽団の大倉安幸(やすゆき)です。やっぱりこうやって日本のオーボエの人達が集まって一つの場を作るって言うのはいいことじゃないかと思ってます。

岡本 — 恐らく九州唯一のフリーの岡本真(しん)と申します。自分の所でマネジメントをやったり、福岡女子短大でオーボエを教えたりしております。良い方向に進むように協力しますし、望みます。

諸岡 — 名古屋フィルの諸岡研史(けんし)です。偶然里帰りしていた所を呼出されまして参加しました。よろしくお願いします。

小林 — 九響の小林牧(まき)です。福岡でオーボエやっている人は絶対数が少ないので、オーボエ・クラブって事に関して今までピンと来ない所もあったんですが、今回をきっかけとしてまた色々考えて行ける事が多いんじゃないかなと思っております。

川久保 — 福岡の警察音楽隊におります川久保道雄と申します。私はオーボエ始めてまだ間がないんですけども、オーボエ・クラブの末席を汚させて頂いております。色々勉強させて頂きたいと思っております。

安原 — さて、皆さんはどちらかと言えば孤立してオーボエを吹かれていますけど、東京にも長かった大倉さんいかがですか。

大倉 — 東京にいた時はね、いろんな素晴らしい人達一杯いたでしょ。言わゆる先生方からの鋭い目とか、仲間内の競争とか、ま、色んな意味の刺激になる事が一杯あったんだけど、今は九州でね、九響って物を一つの福岡の文化の基盤にしたいって気があるから、そういう方向に目が行っているのね。東京は色んな事が一杯あり過ぎるけど、ここではやりたい事が皆で協力してできるという事が良いみたいね。

安原 — 仲間内での切磋琢磨より、関心の対象が地元で根差した聴衆とか文化とか言った物に移って来たと言う事ですか。

大倉 — うん、やっぱり九州には九響と言う文化財産があって良いとは思ってたけど、そのためには東京の諸先輩やオーケストラより劣っていたら文化財産とは言えないからね。でも九州には九州なりの良さって物が当然あっても良いと思うし、今皆でそれを考えている所で、そういう意味で頑張っていくつもりです。

小林 — 僕は国立音大を出てすぐこちらに入れて頂いて丸5年、東京での仕事の経験は学生の時にしかないんです。自分に自信を持ってないことが多々ある物ですから、同年代の同じような立場の色んな意見がもっと周りにあったらな、なんて考える事もあるんですけど、まー、最後には結局自分の問題という事なんでしょうね。

安原 — 諸岡さんは音大出身ではなく、確か...

諸岡 — 早稲田からミュンヘンのシュマルプスの所へ行きまして、ほんの少しだけヴィンシャーマンの所へ顔を出し、名フィルに入って7年目です。入ってしばらくしてから東京へ行ったら、会うオーボエ吹き皆「お前のお陰で名フィルのトラの仕事が無くなった」と言われました。

安原 — 私も被害者です(笑)。岡本さんはフリーとして、九州では具体的にはどのような活動を...

岡本 — 九州ではフリーなんて仕事はあんまりない訳ですね。九響に行ったりとか、たまに地元のテレビとかラジオでやる録音とか位しかない訳で、かえって何て言うんですかね、音楽の普及みたいな事を僕は考え始めたんです。オーボエの事でなく、音楽を広めないといけないとね。そういう意味では、こっちに帰ってから音楽の原点みたいな事を考えさせられた事は実際多かったですね、自分でやるしかないとね。自分が演奏したければ自分が開拓したり動かなきゃ演奏活動できないんですね。

安原 — それは同感です。東京にもフリーは大勢いますが、でも持っているだけではいつしか電話の鳴る回数は減るでしょうね。

諸岡 — 今、岡本君が言ったね「開拓する」と言う事は名古屋でも全く一緒なんですね。いわゆる持って来て来る仕事って言うのは本当に限られてるし、数が少ない。僕は今名フィルの若手で

木管三重奏を組んでいるんですが、結構動機が不純でしてね。ともかく仕事を取って来よう。普通だったら組んで、レパートリーを作ってから演奏会をやるよと言う所を、そうすると絶対喧嘩するのが目に見えているから仕事にしようね。で、始めたら飲み屋でもやれば養護施設でもやり、呼ばれればどこへでも行くという形でやっています。今まで何十回かやってみて一番大きいと感じたのは、先ずとりあえずどこへでも行って、それこそ口こみで広がって行って、一年二年続けてみると結構ツテができあがり、それぞれが二年に一度でも呼んでくれると僕等の仕事というのは結構あるんですよ。できてくるって事が言えますね。「オーボエってどの楽器ですか」って言うような人の前でもやる、それもできれば実際に楽器に触らしてみ、もっとできれば音も出してもらおうという位にスキンシップでやってくとね、結構「輪」ってのは、ビックリしているんですけど、広がるもんですね。

川久保 — 音楽の普及という面から考えますと、私達警察音楽隊としても年間に約70校位の小・中学校へ回り、音楽教室という事で必ず楽器紹介ってのをやりますね。小学校なんかだとオーボエというのはなかなか知らない子が多い。そしたら例えば白鳥の湖吹いてやると「あー、あの曲だったら音楽鑑賞の時間に聴いた事がある」という事で再認識してくれる。それは色々な先生方、テレビ、ラジオでの影響も昔に比べて多いとは思わなくて。オーボエってのはソロ楽器ですのでかなり神経質になりますけど、特に小学校ってのはおべんちゃら言いませんので、ウマければウマイ、ハタクソならハタクソという感情がはっきりしてるので一番神経を使う場所ですね。

安原 — 警察、自衛隊、消防音楽隊などのオーボエの方々とは日頃あまり一緒になる機会がないんですが、今の話を

伺いますと、結局我々は同じ事をやっている訳ですね、会報の重要性を改めて感じるような気がします。所で、皆さんは我々のオーボエ・クラブ自身に関してのご注文はございませんか、例えば支部の問題など...

岡本 — 例えば、九州なり福岡なりで支部を作るとしても、現在プロとして会員になれる人は10人もいないですよ。でもオーボエを専攻している学生はあっちこっちにポチポチといるわけ。この人達に全然プロになるチャンスも、その情報もない訳ですよ。そういう人達の事を考えると、ここに集まっている九州の4人で支部作ってもしようがないと思うんですね。

大倉 — まあ、そういう事ですね。

諸岡 — 名古屋でもチャンスと言えば全くその通りですね。チャンスも勿論ないんだけど、それより前に、専攻の生徒が自分は音大を出たらもしかしたらプロのオーボエ吹きになれるんじゃないか、という意識すらない所なんですよ。

安原 — そりゃ東京だって怪しいもんです。

諸岡 — アマチュア、特に吹奏楽のオーボエに関しても色々問題はありますが、もしかしたら我々はもっともっとオーボエのデモンストレーションに時間と労力を掛ける時代なのかもしれませんね。

大倉 — 僕等には僕等の身近に問題が色々ある訳でしょ、だから本家本元が、と言うか、もし支部があるとすれば本部が、本部自身の考えをはっきり示して、こうやりたいからこうやりましょと、どんどんそういう物を作ってくれば有難いですね。

安原 — 別に東京が本部のつもりもないんですが、現実には目下東京中心です。でも、関西の人達も近々集まってくれるはずで、いずれは別の形に成るでしょうね。

大倉 — やっぱり、本部は絶対必要だ

と思うのよね。支部とすればそこが意見を吸い上げてね、今後こうやって行きたいと目標をきちっと設定してくれる方が僕としては分りやすいと思っています。

川久保 — 私としてはアマチュア的発想ですけども、エチュードとか楽譜の良い物がなかなか手に入らない。楽器屋さんに行っても殆どないし、カタログで注文しても値段や内容が違ったりするんですね。だから、エチュードや易しい練習曲を会報で紹介して戴けると助かります。

小林 — 今まで東京中心だったのが日本全国に延びて来たとして、とりあえずその段階で一番利用できる物って言ったらやっぱり情報交換って事だと思わうんですね。お互い、広い意味で利用できる一番の価値と言ったら、ある程度専門的な事を含めて、自分の疑問点で他の人の話が聞けたりとか。

諸岡 — おっしゃる通りで、こういう同業者の集まりは情報交換に尽きると思っています。僕も偶然こういう会に参加させて戴いて、同じ地方オケの一員としてはやっぱり状況も実質的には同じだし、皆さんそれぞれの立場で考えていらっしやることも非常に共通点多いし、意を強くしました。

安原 — 諸岡さんにうまくまとめて頂きました。それでは...

大倉 — もうテープ止めていい。ちゃんと飲もうよ。

安原 — 本日はどうも有難うございました。



左より大倉、諸岡、安原、
小林、岡本、川久保の各氏

バイバース

- ◇56号『obリードを写真診断する』高橋秀美
- ◇57号『日本オーボエ・クラブが始動』P.36
- ◇57号『バロック・オーボエに魅せられて〜小畑善昭(新日フィル)に聞く』
- ◇58号『君はリード畑を見たか〜南仏ヴァール地方リード材栽培農業を見た』中村幸夫
- ◇58号『ウィーンフィル首席 トレチェック、日本製ウイナObを披露』

バンド・ジャーナル

- ◇4月〜『ワンポイントレッスン』山本安洋

バンド・ビープル

- ◇4月〜『B.P.セミナー』小川綾子

上毛新聞(群馬)

- ◇3-25『生活空間を演奏会場に〜3月29、30日安原理喜オーボエ独奏会〜無伴奏に挑戦』

*****コンリートガイド*****
記録のため終了したものも収録します。

- ◆3-13東京文化小『古典協94定期』ob石橋雅一、fg前田信吉。VIVALDI/ob fg協奏曲 g
- ◆3-17ルーテル市ヶ谷『アルビノーニ室内合奏団8回公演』ob前田正治、cd野口政男。チャムローザ=ベンジミン/ob協奏曲 C。
- ◆3-23本庄文化『42地元演奏家』ob相川恵子 pf久間木聡子、他。SCHUMANN/3のロマンス
- ◆3-27名古屋市民『名フィル名曲』ob諸岡研史、cd外山雄三。マルチェロ/ob協奏曲。
- ◆4-7 武蔵野市民小『葦笛と竝琴の語らい』ob宮本文昭、hp藤崎史子。HAYDN/Serenade BACH/Sonate g, SAINT-SAENS/Sonate/白鳥 MARCELLO/ベニス, LAURE/Siciliano, DEBU SSV/Syrinx(ob solo), クライスラー、他。
- ◆4-15森の宮ピロティ『アド特別』ob宮本文昭、他。ブリテン/6の変奏、他。
- ◆4-21宮城県民『日フィル仙台』ob熊田明宏 cd松尾菓子。モーツァルト/ob協奏曲、他
- ◆4-25イノ『アール・レスピラン第1回』ob植野真知子、mp伊藤映子、hp井上美江子 中川俊郎/Beacon(ob, marimba, hp) 初演
- ◆4-26 JDR『JDR Series 1』ob吉岡りえ、fg前田信吉、pf向井千晶。バッハ/BWV 1030, PONCHIELLI/Capriccio, POUENC/Trio。
- ◆4-30山形市民『山形響54定期』ob竹谷智、cl郷澤隆幸、hn堀内晴文、fg藤田旬、cd村川千秋。モーツァルト/協奏交響曲、他。
- ◆5-12東京文化小『クレーヴランド弦楽四重奏団』ob R. キルマー。武満徹/アントウル・タン(Ob+St-Quart.)世界初演、他。
- ◆5-17近江八幡市民『一柳米来留記念、小林道夫演奏会』ob山本晴勇、vl 横山誠治、vc上村昇、pf、cmb小林道夫。ランキン/ドン・キホーテ(ob cmb)、モーツァルト/ob四重奏、C. バッハ/5重奏曲、他。
- ◆6-1 伊豆下田稲生沢保育園。ob原田知篤、cl金元、fg加藤洋男、pf近藤春代。ベートーヴェン/『ドン・ジョヴァンニ』変奏曲 (ob, cl, fg)、アランク/トリオ、他。
- ◆6-2 学習院記念館『モーツァルトの夕べ』ob似鳥健彦、cd早川正昭、新ヴィヴァルディ合奏団。オーボエ協奏曲、他。
- ◆6-2 京都1字屋。ob渡邊潤也。=6-14
- ◆6-7 京都大谷『東京ソリストン』ob岩崎勇他。ヴィヴァルディ/ob 2vl協奏曲、他。
- ◆6-13新潟市音楽文化『新潟県オーボエ協会第3回〜ob音楽の歴史をたどって』ob出演多数。アルビノーニ、サンリンス、アランク、鍋谷毅/4obの為「わらべうた」ヘンデル/obバンド「水上の音楽」、他。ゲストob安原理喜、ヴィンターケアー/ソナタ e、ブリテン/6の変奏。

- ◆6-14 JDR『JDR Series 2』ob渡邊潤也、vo黒田博、pf佐々由佳里。DONIZETTI/Sonta サンサーンス/Snt、ラリエ/『マルタ』の主題による小品、モリエ/小カンタータ「田園の楽しみ」、デュティエ/ソナタ
- ◆6-14 (土)19:00東京文化大『ザルツブルクモーツァルト』obオットフリート・ルプレヒト。ob四重奏曲、ディヴェルティメント K. 251。[03-496-0959日響]
- ◆6-16 (月)19:00石橋メモリアル『坂田秋也obリサイタル』ob坂田秋也、森田稔子、fg前田信吉、cb永島義男、cmb小林道夫。ZLLENKA/Snt #5 f, #2 g. BACH/Snt Es, TELLMANN/Snt Es, g, CPE. BACH/Trio D (2 ob, Bc)、イサン・コン/ピリ。[梶木]
- ◆6-17 (火)18:30掛川市生涯『ザルツブルクモーツァルト』=6-14。[05372-4-7777]
- ◆6-19 (木)19:00ルーテル市ヶ谷『座光寺公明展』ob黒田浩史。Mono-morphology 3 ob solo初演。[0423-72-0027 座光寺]
- ◆6-19 (木)18:00聖徳学園『ザルツブルクモーツァルト』=6-14。[03-542-1410菊池]
- ◆6-22 (日)14:00佐倉市民『ザルツブルクモーツァルト』=6-14。[0434-61-6221]
- ◆6-25 (水)19:00石橋メモリアル『ルヴァンヴェール木々4』ob富田和子、「日大澤明子」cl加藤明久、hn藤田乙比古、fg菅原恵子。JOHANN/1/Serenade他(03-587-0218ハラヤ)
- ◆6-27 (金)18:30郡山市民『ザルツブルクモーツァルト』=6-14。[0249-34-2288]
- ◆6-29 (日)14:00中新田バス『ザルツブルクモーツァルト』=6-14。[02296-3-7367]
- ◆6-30 (月)18:30高松市民『ザルツブルクモーツァルト』=6-14。[0878-21-3815]
- ◆7-2(水)19:00草月会館『プレゼンテーション』ob原田知篤、Om原田節、他。藤田耕平/ob独奏とオンドマルトノと弦「時は、雨のよう」に。[045-911-1076 音楽文化協]
- ◆7-4(金)18:30日本工業クラブ『李方子妃殿下明輝園チャリティー』ob安原理喜、ダブニ弦合奏団。BACH/シンフォニア 147、マルチェロ/協奏曲、他[03-777-1758塚原]
- ◆7-25 (金)19:00ヴァリオ『若い身によるバロック』ob大住伸子、vl石橋敬子、古典音協。VIVALDI/ob vl 協奏曲[03-295-6147]
- ◆8-21 (木)16:00草津町天狗山レスト『草津国際アカデミー』obバツシン、pfピヒト=アクセンフェルト。シューマン/3ロマンス、他。[03-498-6190財信越音楽協会]
- ◆8-30新宿厚生年金『読響名曲』ob宮本文明 cd小林研一郎。モーツァルト/ob協奏曲他
- ◆12-1東京文化『新日 145定期』ob鈴木清三 cd山本直純、他。イベル/奇港地より他

この欄での案内は無料です。原則としてオーボエのソロ曲を中心に載せますが、詳しくはお問い合わせ下さい。伊藤 博

お詫び

連載の特集「日本のオーボエのルーツを探る」は時間と紙数の関係で今回は掲載させて頂きました。今回も多くの方に取材に、記事作製にご協力頂きましたが、編集の最後の段階で間に合わず、関係者諸氏にご迷惑をおかけしたことをお詫び申し上げます。

次号の本欄正史「八尾五郎再発見」と鈴木清三氏のインタビューにご期待下さい。広報委員長 安原理喜

レコード 国内盤

- ◎モーツァルト/ob協奏曲。ob/H. PIGUET、インシエント室内管弦楽団。ボリドール L28C1975(LP), F35150310(CD)
- ◎『超絶のコロラトゥーラ・オーボエ』obシェレンベルガー。ラリエ/序奏と変奏op 20、ボンキエツリ/カプリッチョ、イヴォン/obソナタ、バスクリ/『シチリア島の夕べ』のモチーフによる大協奏曲。コロンバArchiv 33C37-7908(CD)
- ◎obセニア・ニクリン、バリー・ディヴィス、アカデミー室内。ヴィヴァルディ/2 ob協奏曲 a RV533, 同/ob-fg協奏曲 g RV545。フィリップス 32CD342(CD)
- ◎obピエルロ、フランバル、フランツリスト室内管弦楽団。ハイドン/ob協奏曲、同/1-ob協奏曲 C, G, F。ソニー 54C6D25-6(CD)
- ◎ob/D. ライヒェンバーク、イングリッシュ・コンサート。アルビノーニ/ob協奏曲。Archiv 130A50062(CD)
- ◎ob/クルト・マン、ドレステン・シュターツカペレ。モーツァルト/ob協奏曲 トクマ 321C90(CD)
- ◎ob/H. ホリガー、hp/H. ホリガー、ヴァールブリュッケン放送交。イサン・コン/ob-hp協奏曲。カメラータ CHI4024(LP)
- ◎obホリガー、ニコレ、アカデミー室内。リリエリ、チマローザ、シュターミッツのob、11-ob 協奏曲。フィリップス 32CD402(CD)
- ◎ob似鳥健彦。ラモー/ガヴァット。アポロン BY30-5090(CD)

レコード 海外盤

- B=ベルギー CD=コンパクト・ディスク CH=スイス D=西ドイツ F=フランス GB=イギリス LP=レコード。
- *Ob/Michel PIGUET.HANDEL/Ob=Sonatas.(F)HMC119091LP
- *Ob/Paul GOODWIN, Orch/St. James. HANDEL/Ob=Cnc. & Sn. complete.(GB) ECD84106(CD)
- *Ob/O.ZOPOLI. HANDEL/30boe Sonatas. (CH) EL16974(LP)
- *Ob/B. LUCARELLI. DANICAN=PHILDOR/Snt d. (D)FSM63906
- *<Britten, Schumann, Poulenc oboe works> Oboe/George PARADISE. (CH) Jecklin 239
- *Ob/Derek WICKENS, Royal Phil.HAYDN/Oboe Concerto. (GB) ASV/CDACA 1003(CD)
- *<Ob Son.1700-1750>Ob/Paul Dombrecht.(B) ACC57804(CD)
- *Ob/Teodore BASKIN, Musici de Montreal. VIVALDI/Oboe Concerto, RV449 & 454.(GB) Chan8444(CD), ABRD1156(LP)
- *<Hautbois & Orgue>Ob/Pierre MIGARD, og/J.MARGUILLAR D.LOEILLET,VIVALDI.HANDEL/Sonatas. (F) REMI0928
- *Ob/Sarah FRANCIS, V/R. STUDD VIVALDI/Ob vl Cnc 554, 558. (GB)DKP (CD)9050,DKP9050LP.
- *Ob/Lajos LENCES.VIVALDI,HANDEL,BABEL/Snt.(F)REM3076
- *Ob/DavidTHEODORE.TELEMANN/Snt, Trio.S.(GB) MRF81601

ブルース・ヘインズ著

『1650~1800年のオーボエ音楽』

Bruce HAYNES『Oboe Music 1650-1800』

Fallen Leaf Press, Calif.

ブルース・ヘインズ氏はオランダ・ハーグ王立音楽院教授で、世界的なバロック・オーボエの権威として知られ、日本人の生徒も多い。氏は長年来、現存するあらゆるオーボエ曲の発掘に努め、同書はその集大成である。同書の時代設定は2キイのオーボエを想定しており、バロックからベートーヴェンの初期に相当。記載された数千曲の内、現在出版されているのは極一部で、殆どは博物館、図書館、個人所有となっている。

日本ダブルリード欄に6月上旬入荷、英文、予価6500円。(本間正史) 西独Wリード専門誌 *****

オーボエでも知られる西独ハンス・クロイル社より『OBOE-FAGOTT』誌が6号まで刊行されている。Wリードに関するニュース、奏法/リード研究、奏者、書評の他、豊富な広告も有益。年4回発行、M版40頁、独文。日本ダブルリード欄に5号以降在庫有り、第7号は7月入荷予定。600円。

新規開店 *****

渋谷に新しくオーボエの専門店、ムジーク・ヨーゼフがオープンした。同社は仲村幸夫氏がヨーロッパでの演奏経験を生かして作られたもので、氏は沖縄県生まれ、武蔵野音大卒業後ハンブルクでリーパーマンに師事、82~85年オーケストラ奏者として活躍した後、本年帰国した。

ムジーク・ヨーゼフはフォサッティ・オーボエ(別項参照)、マーカー・リードの日本総代理店で、他にも、フランス・ニューランテール氏作製のケーン各種・各サイズや古楽器など、今まで日本に紹介されていなかった良いものの輸入販売を目指す。同社のご発展に期待する。(住所右欄参照)

★新入会★

前号でお知らせした5月7日のハイキングは前日までの大雨のため前夜中止決定。担当の熊田明宏氏は心当に電話連絡したが、運良く?当日は快晴となって熊田氏は一人で現地集合、誰も現れず。企画委員会は今後、テニス、麻雀大会等を考えている。

新製品=====フォサッティ・オーボエ

フォサッティ(FOSSATI)・オーボエは元フランスR社の職人長であったフォサッティ氏が4年前前に独立、製作しているもので、すでにフランスではプロ奏者の反響を呼び、使用されている。セミ・オートマチック(A0-1、定価74.5万円)、フル・オートマチック(A0-3、AG-3、定価84.5万円)、普及品(E-1、第3オクターブキイ付、定価49万円)の4種類。最も安いE-1を含め、木材は全て5年間自然乾燥したものを使用、上・下管のジョイント部分の奥側にも金属が埋め込まれているなど良心的に作られている。A0、AGシリーズにはキイのキャップに貝が埋め込まれ、AG-3ではGキイがフル・オートマチックとしては軽く動くシステムになっているなど随所に新しい工夫が見られる。E-1を試奏してみるとこの楽器が決して単なる普及品でないことが分る。フォサッティ氏は楽器製作に柔軟な姿勢を示し、現在輸入されているものはすでに日本向けに改良された製品である。(日本総代理店)ムジーク・ヨーゼフ、☎ 03-477-7363

◆ 編集後記 ◆ ザンゲ、次号は発行日を守ります。ただし美人の手伝いがあれば、RY。■一度、編集後記というのを書いてみたかった。う〜ん、良い気分だ。これで編集が終わってればもっと気分が良いだろう。6月某日午前4時30分、RY家にて。HI。